

# 医業経営情報 REPORT

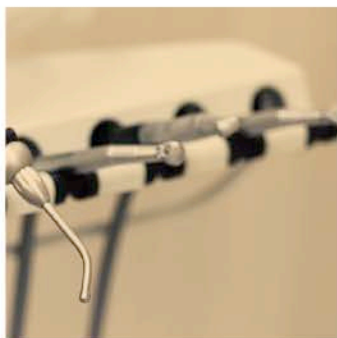
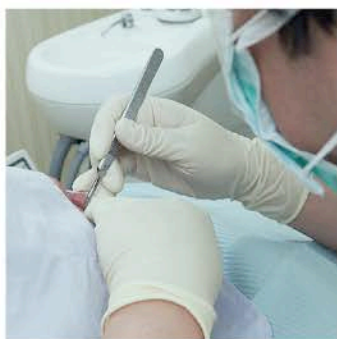
4 | 2015

歯科医院

平成 26 年決算データからみる

## 歯科診療所経営実績分析

- ① 平成 26 年  
歯科診療所経営実績分析
- ② 平成 26 年  
医業収入上位歯科診療所経営分析
- ③ 平成 26 年  
歯科診療所 主要経営指標分析
- ④ 平成 26 年  
歯科診療科目別経営実績分析



# 1 | 平成 26 年 歯科診療所経営実績分析

## 1 | 歯科診療所経営実績分析

本調査は平成 26 年の決算書に基づいて、実数値から経営状況を把握することを目的としています。その上で、連続して調査を実施している平成 25 年との比較を通して、前年実績と改善又は悪化の状況を分析しています。平成 26 年に決算を終えた歯科診療所 184 件（医療法人 51 件、個人開業件 133）の各数値を抽出し、平均値を算出しています。

### ■平成 26 年 比較要約変動損益計算書

（単位：千円）

	平成 26 年	平成 25 年（参考）	前年対比（%）
I 医業収入	46,639	45,828	101.8
1. 保険診療収入	40,569	39,688	102.2
2. 自由診療収入	5,799	5,861	98.9
3. その他の医業収入	271	279	97.1
II 変動費	9,124	8,902	102.5
医薬・歯科材料費	4,106	4,072	100.8
外注技工料	5,018	4,830	103.9
III 限界利益	37,515	36,926	101.6
IV 医業費用	24,137	22,563	107.0
1. 人件費	9,467	9,128	103.7
2. その他固定費	14,670	13,435	109.2
減価償却費	4,287	3,758	114.1
接待交際費	692	647	107.0
研究研修費	290	325	89.2
保険料	379	349	108.6
旅費交通費	527	538	98.0
通信費	382	367	104.1
消耗器具備品費	655	657	99.7
水道光熱費	870	840	103.6
その他	6,588	5,954	110.6
V 医業利益	13,378	14,363	93.1

## 2 | 歯科診療所 経営実績分析総括

平成 26 年における歯科診療所経営実績は、平成 25 年実績と比較して、増収減益となりました。過去の本調査データでは、収入が一昨年から増加に転じており、3 期連続での増加となっています。保険診療収入は 1.8%のプラス、自由診療収入は 1.1%と若干のマイナスとなっています。

なお本分析では、個人開業及び医療法人の実数値をそれぞれ集計した後に、個人開業に統一したため、人件費から役員報酬と専従者給与を除いています。

### ◆ 医業収入・費用等全体の状況

#### ● 医業収入

医業収入は 46,639 千円で、811 千円（対前年比 1.8%）の増加となっています。内訳としては、保険診療収入が 881 千円（対前年比 2.2%）の増加、自由診療収入は 62 千円（対前年比△1.1%）の減少、その他医業収入も 8 千円（対前年比△2.9%）の減少となっていますが、合計で増収となりました。

#### ● 変動費

変動費（医薬・歯科材料費・外注技工料等）は 9,124 千円で、222 千円（対前年比 2.5%）の増加となっています。

#### ● その他固定費

その他固定費は 14,670 千円で、1,235 千円（対前年比 9.2%）の増加となっています。減価償却費が 14.1%、接待交際費 7.0%、保険料 8.6%、その他経費 10.6%の増加となっており、研究研修費、旅費交通費、消耗器具備品費等は減少しています。

#### ● 医業利益

医業利益は 13,378 千円で、985 千円（対前年比△6.9%）の減少となっています。

## 3 | 医業収入 対前年増減比較分析

### (1) 医業収入対前年比較

（単位：千円）

	平成 26 年	平成 25 年（参考）	前年対比（%）
医業収入合計	46,639	45,828	101.8%
保険診療収入	40,569	39,688	102.2%
自由診療収入	5,799	5,861	98.9%
その他医業収入	271	279	97.1%

## (2) 医業収入分析

### ● 医業収入

医業収入は 46,639 千円、811 千円（対前年比 1.8%）の増加となりました。

保険診療収入は 881 千円（前年対比 2.2%）の増加となりました。自由診療収入、その他医業収入はともに減少しました。

### ● 総収入に占める自由診療収入の割合

平成 26 年は 12.4% ですが、平成 25 年では 12.8% となっており、減少しています。

## 4 | 変動費・医業費用 対前年増減比較分析

### (1) 変動費・医業費用対前年比較

#### ① 変動費（歯科材料費・外注技工料）

（単位：千円）

	平成 26 年	平成 25 年（参考）	前年対比（%）
変動費合計	9,124	8,902	102.5%
変動費率	19.6%	19.4%	0.2%
薬品・歯科材料費	4,106	4,072	100.8%
外注技工料	5,018	4,830	103.9%

#### ② 人件費

（単位：千円）

	平成 26 年	平成 25 年（参考）	前年対比（%）
人件費合計	9,467	9,128	103.7%

#### ③ その他固定費

（単位：千円）

	平成 26 年	平成 25 年（参考）	前年対比（%）
固定費合計	14,670	13,435	109.2%
減価償却費	4,287	3,758	114.1%
接待交際費	692	647	107.0%
研究研修費	290	325	89.2%
保険料	379	349	108.6%
その他	9,022	8,356	108.0%

## (2)変動費・医業費用分析

### ●変動費

変動費は 9,124 千円で、222 千円（対前年比 2.5%）の増加となりました。  
医業収入増加に伴い、薬品・歯科材料費は 0.8%、外注技工料は 3.9%増加しています。

### ●人件費

人件費は 9,467 千円、339 千円（対前年比 3.7%）の増加となりました。

### ●その他固定費

その他固定費は 14,670 千円、1,235 千円（対前年比 9.2%）の増加となりました。そのうち減価償却費が 529 千円の増加となっており、実質の経費増加額は 706 千円となります。

## 5 | 医業利益等 対前年増減比較分析

### (1)医業利益等 対前年比較

#### ■限界利益・医業利益・経常利益

（単位：千円）

	平成 26 年	平成 25 年（参考）	前年対比（%）
限界利益	37,515	36,926	101.6%
医業利益	13,378	14,363	93.1%
経常利益	13,559	14,511	93.4%

### (2)医業利益等分析

#### ●限界利益

限界利益は 37,515 千円で、589 千円（対前年比 1.6%）の増加となりました。

#### ●医業利益

医業利益は 13,378 千円、985 千円（対前年比△6.9%）の減少となりました。

#### ●経常利益

経常利益は 13,559 千円、952 千円（対前年比△6.6%）の減少となりました。

## 2 | 平成 26 年 医業収入上位歯科診療所経営分析

### 1 | 医業収入上位歯科診療所経営分析の概要

第 1 章で分析した歯科診療所 184 件（医療法人 51 件、個人開業 133 件）の決算書より、医業収入上位 20%を抽出し、経営データを集計しました。集計件数の内訳は医療法人 27 件、個人開業 10 件となっています。

#### ■平成 26 年 収入上位歯科診療所比較要約変動損益計算書

(単位:千円)

	平成 26 年	平成 25 年 (参考)	前年対比 (%)
I 医業収入	91,309	86,105	106.0
1. 保険診療収入	73,759	69,796	105.7
2. 自由診療収入	17,175	15,969	107.6
3. その他の医業収入	375	340	110.3
II 変動費	18,342	17,146	107.0
医薬・歯科材料費	9,015	8,454	106.6
外注技工料	9,327	8,692	107.3
III 限界利益	72,967	68,959	105.8
IV 医業費用	50,421	48,215	104.6
1. 人件費	21,401	19,513	109.7
2. その他固定費	29,020	28,702	101.1
減価償却費	6,595	6,967	94.7
接待交際費	1,100	1,060	103.8
研究研修費	574	836	68.7
保険料	1,192	1,078	110.6
旅費交通費	1,124	1,283	87.6
通信費	589	553	106.5
消耗器具備品費	1,165	1,095	106.4
水道光熱費	1,118	1,097	101.9
その他	15,563	14,733	105.6
V 医業利益	22,546	20,744	108.7

## 2 | 医業収入上位歯科診療所 経営実績分析総括

## ◆ 医業収入・費用等全体の状況

## ● 医業収入

医業収入は 91,309 千円で、5,204 千円（対前年比 6.0%）の増加となりました。保険診療収入が 3,963 千円（対前年比 5.7%）増加、自由診療収入 1,206 千円（対前年比 7.6%）、その他収入が 35 千円（対前年比 10.3%）と全て増加しています。

## ● 変動費

変動費は 18,342 千円で、1,196 千円（対前年比 7.0%）の増加となりました。

## ● 医業費用

医業費用は 50,421 千円で、2,206 千円（対前年比 4.6%）の増加となりました。減価償却費、研究研修費、旅費交通費は減少していますが、接待交際費、保険料、通信費、消耗器具備品費、水道光熱費等は増加しています。

## ● 医業利益

医業利益は 22,546 千円で、1,802 千円（対前年比 8.7%）の増加となりました。

## 3 | 医業収入 対前年比増減比較分析

## (1) 医業収入 対前年比較

(単位：千円)

	平成 26 年	平成 25 年 (参考)	前年対比 (%)
医業収入合計	91,309	86,105	106.0%
保険診療収入	73,759	69,796	105.7%
自由診療収入	17,175	15,969	107.6%
その他医業収入	375	340	110.3%

## (2) 医業収入分析

## ● 医業収入

医業収入は 91,309 千円で、5,204 千円（対前年比 6.0%）の増加となりました。保険診療収入が 3,963 千円（対前年比 5.7%）の増加、自由診療収入が 1,206 千円（対前年比 7.6%）の増加、その他医業収入が 35 千円（対前年比 10.3%）もともに増加となっています。

## 4 | 変動費・医業費用 対前年増減比較分析

## (1) 変動費・医業費用 対前年比較

## ① 変動費（歯科材料費・外注技工料）

（単位：千円）

	平成 26 年	平成 25 年（参考）	前年対比（%）
変動費合計	18,342	17,146	107.0%
変動比率	20.1%	19.9%	0.2%
薬品・歯科材料費	9,015	8,454	106.6%
外注技工料	9,327	8,692	107.3%

## ② 人件費

（単位：千円）

	平成 26 年	平成 25 年（参考）	前年対比（%）
人件費	21,401	19,513	109.7%
（参考役員報酬）	(25,834)	(24,585)	(105.1)

## ③ その他固定費（主要科目抜粋）

（単位：千円）

	平成 26 年	平成 25 年（参考）	前年対比（%）
固定費合計	29,020	28,702	101.1%
減価償却費	6,595	6,967	94.7%
接待交際費	1,100	1,060	103.8%
研究研修費	574	836	68.7%
保険料	1,192	1,078	110.6%

## (2) 変動費・医業費用分析

## ● 変動費

変動費は 18,342 千円で、1,196 千円（対前年比 7.0%）の増加となっています。

## ● 人件費

人件費は 21,401 千円で、1,888 千円（対前年比 9.7%）の増加となっています。（計上した人件費は役員報酬を差し引いて再計算しています。）

## ● その他固定費

その他固定費は 29,090 千円で、318 千円（対前年比 1.1%）の増加となっています。



## 5 | 医業収入を伸ばしている歯科診療所の取り組み

収入を伸ばしている歯科医院は共通して、自費診療も含め、患者の要望にできるだけ応えたいという姿勢で、費用を投下し、次のような取り組みを行っています。

### ■具体的取組み

自院の強みの特化	レベルの高い歯科診療技術、審美・予防歯科、訪問診療、小児歯科、女性・高齢患者への配慮、夜間・早朝・休日診療
継続的な技術革新	マイクロスコープ、レーザー、歯科用CT、無痛診療、自由診療でインプラント以外への取組み
患者の安心感向上	治療計画の提供、ディスプレイ材料の使用、カウンセリングルームの設立、定期検診の案内、患者サークルの設立、待合室の充実
スタッフ教育の充実	戦力にする教育システム構築、自費診療関連知識の習得、治療・予防サポートスキルの習得、
地域交流および連携	町内会、老人クラブ、学校、病院・医科診療所、介護施設等と連携強化

## 6 | 医業利益等 対前年増減比較分析

### (1) 医業利益等 対前年比較

#### ■限界利益・医業利益・経常利益

(単位：千円)

	平成 26 年	平成 25 年 (参考)	前年対比 (%)
限界利益	72,967	68,959	105.8%
医業利益	22,546	20,744	108.7%
経常利益	22,774	20,938	108.8%

### (2) 医業利益等分析

#### ● 限界利益

限界利益は 72,967 千円で、4,008 千円 (対前年比 5.8%) の増加となっています。

#### ● 医業利益

医業利益は 22,546 千円で、1,802 千円 (対前年比 8.7%) の増加となっています。

#### ● 経常利益

経常利益は 22,774 千円で、1,836 千円 (対前年比 8.8%) の増加となっています。

### 3 | 平成 26 年 歯科診療所 主要経営指標分析

#### 1 | 歯科診療所主要経営指標分析の概要

本章では、引き続き医療法人 51 件と個人歯科診療所 133 件をベースに、それぞれ貸借対照表の数値を抽出し、前述の損益計算書から各経営指標を算出しました。

分析は、収益性、生産性、安全性、成長性の 4 つの視点で行いました。

#### ■平成 26 年比較貸借対照表 医療法人・個人開業

(単位：千円)

資産の部			負債の部		
	平成 26 年	平成 25 年 (参考)		平成 26 年	平成 25 年 (参考)
【流動資産】	22,092	20,166	【流動負債】	6,039	6,176
現金・預金	12,109	10,420	買掛金	822	891
医業未収金	6,109	6,077	その他	5,217	5,285
その他	3,874	3,669	【固定負債】	23,667	24,955
【有形固定資産】	23,155	24,514	長期借入金	21,254	22,490
【無形固定資産】	1,587	1,489	その他	2,413	2,465
【その他の資産】	7,905	7,852	負債合計	29,706	31,131
			資本の部		
				平成 26 年	平成 25 年 (参考)
			【出資金】	16,038	15,114
			【利益剰余金等】	8,995	7,776
固定資産計	32,647	33,855	資本合計	25,033	22,890
資産合計	54,739	54,021	負債・資本合計	54,739	54,021

## 2 | 収益性分析結果

		平成 26 年	平成 25 年 (参考)	差異
収益性	総資本経常利益率 (%)	24.8%	26.9%	△2.1%
	医業収入医業利益率 (%)	28.7%	31.7%	△3.0%
	医業収入経常利益率 (%)	29.1%	31.3%	△2.2%
	総資本回転率 (回)	0.85 回	0.85 回	0.0 回

## ■ 指標計算式

指標名	目的	計算式
総資本経常利益率	資本を使ってどれだけ効率的に利益を上げたかを見る指標です。	経常利益 ÷ 総資本 × 100 (%)
医業収入医業利益率	医業活動における利益を医業収入で除した指標です。	医業利益 ÷ 売上高 × 100 (%)
医業収入経常利益率	医業利益に医業外損益を加えた経常利益を医業収入で除したものです。	経常利益 ÷ 医業収入 × 100 (%)
総資本回転率	資本の何倍の医業収入があるかを見る指標です。	医業収入 ÷ 総資本

## ■ 収益性分析コメント

## ● 利益率

総資本経常利益率は平成 26 年が 24.8%で、対前年比 2.1%減少、医業収入医業利益率は、平成 26 年 28.7%で、対前年比△3.0%、医業収入経常利益率は、平成 26 年が 29.1%で、対前年比△2.2%の減少となっています。

## ● 総資本回転率

総資本回転率は平成 26 年 0.85 回で、前年と同率になりました。

## 3 | 生産性分析結果

		平成 26 年	平成 25 年 (参考)	差異
生産性	限界利益率 (%)	80.4%	80.6%	△0.2%
	1 人当たり医業収入/月 (千円)	904 千円	888 千円	16 千円
	1 人当たり限界利益/月 (千円)	727 千円	715 千円	12 千円
	1 人当たり人件費/月 (千円)	183 千円	177 千円	6 千円
	労働分配率 (%)	25.2%	24.7%	0.5%

## ■指標計算式

指標名	目的	計算式
限界利益率	医業収入から変動費（外部購入費用）を控除した限界利益（付加価値）の医業収入に対する比率です。	限界利益 ÷ 医業収入 × 100（％）
一人当たり医業収入	一人当たりの医業収入の効率を見る指標です。	（医業収入 ÷ 従業員数） ÷ 12 ヶ月
一人当たり限界利益	一人当たりの限界利益創出力を見る指標です。労働生産性ともいいます。	（限界利益 ÷ 医業収入） ÷ 12 ヶ月
一人当たり人件費	一人当たりの総額人件費（社会保険料などの企業負担も含めたもの）を見る指標です。	（総額人件費 ÷ 従業員数） ÷ 12 ヶ月
労働分配率	限界利益に占める人件費の割合を見る指標です。	総額人件費 ÷ 限界利益 × 100（％）

## ■生産性分析コメント

## ● 限界利益率

平成 26 年は 80.4%で、対前年比 0.2%の減少となっています。

## ● 一人当たり医業収入

平成 26 年は 904 千円で、対前年との差は 16 千円の減少となっています。

## ● 一人当たり限界利益

平成 26 年は 727 千円で、対前年との差は 12 千円の増加となっています。

## ● 一人当たり人件費

平成 26 年は 183 千円で、対前年との差は 6 千円の増加となっています。

## ● 労働分配率

平成 26 年は 25.2%で、対前年比 0.5%の増加となっています。

## 4 | 安全性分析結果

		平成 26 年	平成 25 年（参考）	差異
安全性	流動比率（％）	365.8%	326.5%	39.3%
	当座比率（％）	301.7%	267.1%	34.6%
	固定比率（％）	130.4%	147.9%	△17.5%
	固定長期適合率（％）	70.5%	74.6%	△4.1%
	自己資本率（％）	45.7%	42.4%	3.3%

## ■指標計算式

指標名	目的	計算式
流動比率	短期的な債務返済能力を見る指標です。	流動資産 ÷ 流動負債 × 100(%)
当座比率	流動資産の中で特に換金性の高い当座資産による短期返済能力を見る指標です。	当座資産 ÷ 流動負債 × 100(%)
固定比率	固定資産が自己資本でどれだけ調達できているかを見る指標です。	固定資産 ÷ 自己資本 × 100(%)
固定長期適合率	固定資産が自己資本と長期負債でどれだけ調達できているかを見る指標です。	固定資産 ÷ (自己資本 + 長期負債) × 100(%)
自己資本比率	総資産に占める自己資本(純資産)の割合を見る指標です。	自己資本 ÷ 総資産 × 100(%)

## ■安全性分析コメント

<p>●平成 26 年の指標では、流動比率が高く、短期的な債務返済能力は高いと判断できます。また換金可能な資産による債務返済能力も高いといえます。自己資本比率も高い水準にあり、財務体質は健全と評価できます。</p>
---

## 5 | 成長性分析結果

		平成 26 年	平成 25 年 (参考)
成長性	医業収入増加率 (%)	1.8%	1.1%
	限界利益増加率 (%)	1.6%	0.7%
	医業利益増加率 (%)	△6.9%	19.8%
	経常利益増加率 (%)	△6.6%	3.4%

## ■成長性分析コメント

<p>●平成 26 年の経営実績は、医業収入・限界利益は増加しています。医業利益・経常利益はすべて減少となりました。今回の調査では、医療法人、個人開業それぞれに増収傾向にある一方で、医業費用の増加により、減益となっている歯科診療所が多いと推測されます。</p>
--

## 4 | 平成 26 年 歯科診療科目別経営実績分析

### 1 | 歯科診療所科目別経営実績分析

本分析のデータは、平成 26 年に決算を終えた歯科診療所 184 件（医療法人 51 件、個人開業 133 件）から診療科目別に各数値を抽出し、平均値を算出しています。

なお、抽出した診療科目は、一般歯科、小児歯科、矯正歯科となっています。歯科診療所は小児歯科専門、矯正歯科専門の診療所が少なく、一般歯科と併せて標榜している医院が多いため、診療所名称で分類しています。

第 1 章のデータ同様、個人開業に統一したため、人件費から役員報酬と専従者給与は除いています。

#### ■各データのサンプル数

● 一般歯科	155 件	（医療法人 44 件	個人開業 111 件）
● 小児歯科	13 件	（医療法人 3 件	個人開業 10 件）
● 矯正歯科	16 件	（医療法人 4 件	個人開業 12 件）

診療科目別の個別データは、次ページ以降に掲載しました。診療科目別に集計した主要科目は、下記のとおりです。

#### ■平成 26 年 診療科目別主要データ

（単位：千円）

	一般歯科	小児歯科	矯正歯科
医業収入	45,925	59,482	73,194
変動費	9,233	11,993	16,709
限界利益	36,692	47,489	56,485
医業費用	23,388	30,955	38,171
人件費	9,309	12,521	14,361
医業利益	13,304	16,534	18,314
参考：役員報酬	17,239	20,962	20,291

※小児歯科や矯正歯科に関しては、役員報酬や専従者給与が高く設定されていました。

## 2 | 診療科目別 経営実績分析結果

## (1)一般歯科診療所

一般歯科診療所の集計データです。一般歯科診療所は、増収減益となりました。医業収入は、1.0%の増加となりました。

役員報酬は、26年平均で、17,239千円となっています。

医業利益は、13,304千円（対前年比6.1%減少）となりました。

なお、次ページ以降集計した小児歯科、矯正歯科は除いています。

## ■平成 26 年 比較要約変動損益計算書

(単位：千円)

	平成 26 年	平成 25 年(参考)	前年対比 (%)
I 医業収入	45,925	45,457	101.0
1. 保険診療収入	41,195	40,794	101.0
2. 自由診療収入	4,420	4,328	102.1
3. その他の医業収入	310	335	92.5
II 変動費	9,233	9,014	102.4
医薬・歯科材料費	4,098	4,024	101.8
外注技工料	5,135	4,990	102.9
III 限界利益	36,692	36,443	100.7
IV 医業費用	23,388	22,282	105.0
1. 人件費	9,309	9,102	102.3
2. その他固定費	14,079	13,180	106.8
減価償却費	4,017	3,381	118.8
接待交際費	722	674	107.1
研究研修費	270	274	98.5
保険料	448	443	101.1
旅費交通費	542	548	98.9
通信費	374	388	96.4
消耗器具備品費	621	607	102.3
水道光熱費	882	922	95.7
その他	6,203	5,943	104.4
V 医業利益	13,304	14,161	93.9

n=155件（医療法人 44件 個人開業 111件）

## (2)小児歯科診療所

小児歯科を診療所名に入れている診療所の集計データです。小児歯科診療所は、増収増益となりました。医業収入は、2.6%の増加となっています。

役員報酬は、26年平均で、20,962千円となっています。

医業利益は、16,534千円（対前年比2.4%増加）となりました。

### ■平成 26 年 比較要約変動損益計算書

(単位：千円)

	平成 26 年	平成 25 年(参考)	前年対比 (%)
I 医業収入	59,482	57,992	102.6
1. 保険診療収入	48,491	47,654	101.8
2. 自由診療収入	10,518	9,871	106.6
3. その他の医業収入	473	467	101.3
II 変動費	11,993	11,314	106.0
医薬・歯科材料費	5,507	5,307	103.8
外注技工料	6,486	6,007	108.0
III 限界利益	47,489	46,678	101.7
IV 医業費用	30,955	30,530	101.4
1. 人件費	12,521	12,116	103.3
2. その他固定費	18,434	18,414	100.1
減価償却費	5,479	4,862	112.7
接待交際費	788	732	107.7
研究研修費	371	385	96.4
保険料	544	566	96.1
旅費交通費	753	783	96.2
通信費	435	428	101.6
消耗器具備品費	877	887	98.9
水道光熱費	1,058	980	108.0
その他	8,129	8,791	92.5
V 医業利益	16,534	16,148	102.4

n=13 件（医療法人 3 件 個人開業 10 件）



### (3)矯正歯科診療所

矯正歯科を診療所名に入れている診療所の集計データです。矯正歯科診療所は、増収増益となりました。医業収入は、4.4%の増加となっています。

役員報酬は、26年平均で、20,291千円となっています。

医業利益は、18,314千円（対前年比5.3%増加）となりました。

#### ■平成 26 年 比較要約変動損益計算書

(単位：千円)

	平成 26 年	平成 25 年(参考)	前年対比 (%)
I 医業収入	73,194	70,105	104.4
1. 保険診療収入	48,591	47,225	102.9
2. 自由診療収入	24,263	22,538	107.7
3. その他の医業収入	340	342	99.4
II 変動費	16,709	14,828	112.7
医薬・歯科材料費	7,920	7,375	107.4
外注技工料	8,789	7,453	117.9
III 限界利益	56,485	55,277	102.2
IV 医業費用	38,171	37,891	100.7
1. 人件費	14,361	14,040	102.3
2. その他固定費	23,810	23,851	99.8
減価償却費	8,735	7,583	115.2
接待交際費	972	897	108.4
研究研修費	762	886	86.0
保険料	927	921	100.7
旅費交通費	805	987	81.6
通信費	535	521	102.7
消耗器具備品費	1,010	1,181	85.5
水道光熱費	1,061	1,015	104.5
その他	9,003	9,860	91.3
V 医業利益	18,314	17,386	105.3

n=16 件（医療法人 4 件 個人開業 12 件）